

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

令和 4 年度 第 1 回 松川町資料館運営委員会

2 開催日時 令和 4 年 6 月 25 日(土) 10 時から 11 時まで

3 開催場所

松川町資料館 視聴覚室

4 出席者氏名

資料館運営委員

川瀬八十治 松井悦子 小平知行 亀山勝保 米澤正幸 矢澤登 中村美幸
事務局

資料館長:福島俊美 文教施設係長:矢沢秀子 主事:伊坪達郎 米山梓

5 協議事項

(1)令和 4 年度 事業計画 (別紙資料)

(2)図書館・資料館 大規模改修について

6 傍聴人の数

なし

7 会議資料の名称

令和 4 年 第 1 回 松川町資料館運営委員会資料

8 審議の概要

資料館長あいさつ

運営委員長・副委員長 選出

委員長：川瀬八十治委員 副委員長：松井悦子委員

運営委員長あいさつ

<協議事項>

(1) 令和4年度事業計画について

—事務局より説明—

◎企画展について

委員 A：御柱祭の展示開催してもらってありがたい。

今年の御柱祭は新型コロナの影響で例年にない方法での開催となった。関係者のみで行われ、カメラマンの見学も制限していたために記録写真が少ない。次回の御柱祭のときに探すことは難しいと思われるので今から写真や資料集めをしておいてほしい。

事務局：今年の御柱祭の様子を資料館が撮影した写真があるので整理して保存していく。

また、神社関係者や地域の方々にも呼びかけ、今から収集を進めていく。

◎公文書の保存・公開について

委員 B：公文書の保存・公開について全国的に検討がはじまっているとのことだが、現状どのように進んでいるか知りたい。

事務局：公文書の保存・公開については全国的に議論がなされており、現在長野県は先進地域の一つとなっている。しかし、東北信、中信地域で文書館の設置などが進んできている一方で南信地域にはまだ公文書関連施設がなく進んでいない状況。

町の公文書については、合併前の旧大島村・旧生田村・旧上片桐村の文書は資料館に収蔵しており、すでに整理が終わっている。利用や閲覧ができる状態になっている。

現在の課題は合併後の松川町の文書をどうしていくかということ。将来的に、保存期間が終了した文書を廃棄する前に一度確認して残すもの・処分するものを検討すべきと考えている。文書の件名等がリスト化されていればそれを見て判断できるかと思う。総務課とも連携して検討を進めていきたい。また、保存していくべき文書の保管場所の確保も大きな課題の一つである。

◎資料収集について

委員 C: 資料を寄贈する側としてはぜひ資料館に保管してもらい役立ててほしいと思うはずだが、すべてを受け入れることはむずかしいと思う。どうか。

事務局: 資料の保管場所の確保が大きな課題。館内の収蔵庫だけではスペースが足りなくなっているため、今後館外にも収蔵スペースが確保できないかなど検討していく必要がある。

委員 D: 今年度寄贈のあった元公民館主事 松下拓氏の資料や作品多くあると思う。ぜひ寄贈資料を展示する展覧会等の企画をお願いしたい。

事務局: 寄贈いただいた資料には町の公民館活動に関する重要な資料もたくさんある。ぜひ企画したい。

◎資料等のデジタル・データ化について

委員 E: 資料のデジタル化・データ化はどのくらい考えられるのか。

資料のすべてを「物」として保存するのは大変。ある程度はデジタル化を進めていく必要があるのではないか。

事務局: 資料館単体ではなかなか難しいが、チャンネルユーなどと連携するなど、デジタル化について検討していく必要があると考える。県では図書館の本や資料をアーカイブ化する事業が始まってきている。特に紙資料など劣化しやすいものはデジタル化していくことが必要であり、利用者側も遠方からも閲覧・利用ができるというメリットがある。検討していきたい。

委員 E: 今後近隣町村とも情報交換を行い進めていってほしい。

(2) 図書館・資料館 大規模改修について

—事務局から説明—

- ・開館から30年が経過。建物の長寿命化を図るため大規模改修を行う。
- ・今年度設計、来年度施工。
- ・業者選定⇒落札 現在の建物を設計した鈴木設計が落札。これから契約を行う。
- ・設計業務については県住宅供給公社に技術支援を依頼

事務局: これから改修工事を進めていくにあたり、意見・要望をいただきたい。

—施設内見学—

⇒意見・質問は配布した用紙に記載のうえ後日提出してもらう。

改修予定箇所について

- ・照明の LED 化
- ・外壁
- ・屋根(雨漏り)
- ・空調設備(図書館と資料館の冷暖房設備の分離、展示ホール・展示室・収蔵庫を含む全館空調の導入)

以上